

平成30年12月10日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

「もんじゅ」燃料体取出し作業の状況について

12月9日（日）、57体目の燃料体取出し作業を実施中、模擬燃料体を炉外燃料貯蔵槽（EVST）に移送するために、燃料出入機本体Aにより地下台車にある模擬燃料体をつかむ際、21時22分頃に「本体Aグリッパつかみ・はなし異常」警報が発報しました。

その後、手順に従い、燃料出入機本体Aグリッパの動作確認を行ったところ、再度、同様の警報が発報したことから、当該グリッパを洗浄することとしました。このため、燃料体取出し作業を中断しています。

原因は、当該グリッパにナトリウムが付着しているためと推定しております。

なお、グリッパへのナトリウム付着対策については、環境改善やグリッパ開閉トルクの上昇傾向監視によるグリッパ洗浄時期の見極めなど、これまでの燃料体取出し作業の経験を踏まえ適時、適切な運用の改善を行っており、今後も必要な改善を継続していきます。

以上